

## 地域医療構想の推進に向けた公立・公的病院の役割の再検証について

### 1 背景・経緯

2016（平成28）年10月に策定した地域医療構想では、各構想区域において、医療機関が担う役割等の検討を進めている。

厚生労働省は、「地域医療構想に関するワーキンググループ」を設置し、各構想区域における議論の活性化を図るための方策を検討してきた。

### 2 再検証について

厚生労働省は、9月26日（木）に急性期の病床を有する公立・公的医療機関等のうちから**再編・統合について再検証の要請対象となる医療機関を選定し、公表**した。

#### （1）医療機関の選定方法

次の①、②のいずれかに該当する医療機関が選定されている。

①全国の同程度の人口規模の構想区域内に所在する医療機関のなかで、厚生労働省が定めた**急性期医療に関する9項目\***の診療実績（平成29年6月分実績）が全て下位33.3%に属する。

②同一構想区域内で、**急性期医療に関する6項目\***について、類似の診療実績を有する医療機関が2つ以上あり、お互いの所在地が自動車**20分程度の距離に近接**している。（人口100万人以上の構想区域は、今回再検証の要請対象外）

※9項目：がん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期、災害、へき地、研修・派遣  
（②は下線の6項目）

#### （2）対象医療機関

本県では、下表の**9医療機関**（全国424医療機関）が選定された。

	構想区域	設置主体	医療機関名	該当
1	名古屋・尾張中部	健康保険組合	中日病院	①
2	名古屋・尾張中部	国立病院機構	国立病院機構東名古屋病院	①
3	名古屋・尾張中部	健康保険組合	ブラザー記念病院	①
4	海部	市町村	津島市民病院	②
5	海部	市町村	あま市民病院	②
6	尾張西部	市町村	一宮市立木曾川市民病院	①
7	尾張北部	都道府県	医療療育総合センター中央病院	②
8	西三河北部	市町村	みよし市民病院	①
9	西三河南部西	市町村	碧南市民病院	②

### 3 厚生労働省の見解

今回の取組は、一定の条件を設定して分析し、各医療機関が担う急性期機能やそのために必要な病床数について再検証をお願いするものである。

医療機関そのものの統廃合を決めるものではなく、ダウンサイジング、機能分化等の方向性を機械的に決めるものでもない。

地域医療構想調整会議（本県では、地域医療構想推進委員会）の議論を活性化し、必要な医療機能の見直しを行っていただきたい。

（厚労省ホームページ「地域医療構想の実現に向けて」より）

### 4 今後の県の対応

- （1）厚生労働省から詳細な分析データの提供を受け、**病院及び地域医療構想推進委員会に内容を説明予定**
- （2）今後、厚生労働省が発出する通知を踏まえて、各構想区域の**地域医療構想推進委員会**で要請対象となった医療機関の役割の再検証について、**検討を進めていく**予定。（今年度は、今後2回程度開催予定）
- （3）再検証については、**令和2年9月までに決定し厚生労働省に報告**することとされている。

### 5 参考

#### （1）全国知事会

今回の医療機関名の公表について、遺憾の意を示した。（9月27日）

#### （2）国と地方との協議の場（10月4日）

地方3団体と厚労省、総務省が出席。

厚生労働省は、病院名の出し方について反省したいとしたうえで、病院名公表の経緯や目的について、しっかりと説明責任を果たすため、全国に足を運んで話をしていく考えを示す。

#### （3）ブロック別意見交換会（東海北陸ブロックは、10月21日（月）開催）

##### ①本県の参加者

医療機関関係者、行政関係者など100名程度

##### ②厚生労働省迫井審議会より再検証の要請に関する経緯等の説明

##### ③質疑応答

民間データの公表や急性機能以外の実績も考慮すべき等の意見有